

☆ 大田区

保存版

防災

ハザードマップ

地震、風水害に備える



大田区公式PRキャラクター
はねびよん

地震発生！そのときどうする？	156 P ~ 157 P
避難の流れ	158 P
津波ハザードマップ	159 P
防災マップ（震災編）	160 P ~ 169 P
風水害から身を守るための避難行動	170 P ~ 171 P
多摩川ハザードマップ	172 P ~ 173 P
高潮ハザードマップ	174 P ~ 175 P
中小河川・土砂災害・内水氾濫ハザードマップ	176 P ~ 185 P
情報入手先	186 P

地震発生! そのときどうする?

地震は、大雨や台風と異なり、いつどこで発生するか予測の難しい自然災害です。

いざという時にあわてず適切に行動できるよう、日頃から地震に対しての知識や心構えを身に付けておきましょう。

緊急地震速報 (地震発生直前)

地震発生! (0~2分)

地震発生直前の対応

緊急地震速報

- 大きな地震が予想される場合「もうすぐ強いゆれがくる」ことを知らせるため、テレビやラジオ、携帯電話などを通じて緊急地震速報が発表されます。
- 緊急地震速報から強いゆれがくるまでの時間は、数秒から数十秒です。この間に、自分の身(特に頭)を守りましょう。



地震発生時の行動

まずは身の安全を確保

- ゆれを感じたり、緊急地震速報が流れたときは、身の安全を最優先に行動しましょう。
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」、「倒れてこない」、「移動してこない」空間に身を寄せ、ゆれがおさまるまで様子を見ましょう。



イラスト提供: 日本シェイクアウト提唱会議

外出先で地震にあったら

外出先で地震にあった場合も、まずは身の安全を確保することには変わりはありません。屋外では転倒物や落下物などに注意しながら、公園などの広い場所に移動しましょう。

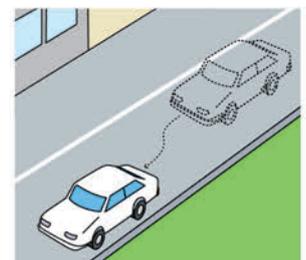
住宅街

- ブロック塀や石壁、門柱から離れましょう。
- 切れて垂れ下がった電線には触らないようにしましょう。
- 屋根瓦やガラス、看板などが落下する恐れがあります。手荷物などで頭を守りましょう。



車の運転中

- 急ブレーキはかけず、ハザードランプを点灯して徐々にスピードを落としましょう。
- ゆれがおさまるまで車外には出ないようにしましょう。
- 車はできるだけ道路の端に止め、緊急車両の妨げとならないようにしましょう。



電気の安全確認

停電後の復旧の際に発生する恐れのある「通電火災」への注意が必要です。再通電する前に、「近くに燃えやすい物がないか」「電源コードや配線に損傷がないか」「機器が水に浸った恐れがないか」などを確認しましょう。

発生直後
(2～5分)

安全確保
(5～10分)

隣近所の救出・救援
(10分～半日)

避難

地震発生直後の行動

火の元を確認・避難経路を確保

- 火を使っているときは、ゆれがおさまってから、あわてずに火の始末をしましょう。
- 出火したときは、落ち着いて消火しましょう。
- ゆれがおさまったら、避難ができるように出口を確保しましょう。
- 屋内では転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意しましょう。
- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくる恐れがあるので、あわてて外に飛び出さないように注意しましょう。
- 避難する場合は、電化製品のプラグを抜いてブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めましょう。



地震発生後の行動

正しい情報を入手・避難の準備

- テレビやラジオ、行政などから正しい情報を入手しましょう。
- 自宅の安全を確認したら近隣の安否も確認しましょう。
- 家屋や家具などの下敷きになった人を近所で協力し、救出・救護しましょう。
- 地域に大規模な火災の危険が迫り、身の危険を感じたら、一時(いつとき)集合場所や避難場所に避難しましょう。
- 沿岸部では、大きなゆれを感じたり、津波警報が発表されたら、高いビルなどの安全な場所に素早く避難しましょう。



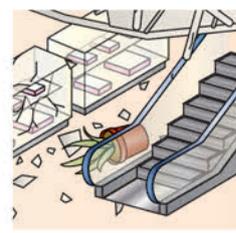
電車の中

- 電車はゆれを感じると、自動的に停止します。つり革や手すりにしっかりとつかまりましょう。



デパート・スーパーの店内

- 商品棚から離れて、壁や柱に身を寄せましょう。
- 照明や看板などの転倒や落下に注意しましょう。



エレベーターの中

- 最寄りの階に停止させて、すぐに降りましょう。
- 閉じ込められた場合は、非常ボタンやインターホンで外部に連絡して救助を待ちましょう。



地下街

- 地下街には約 60 メートルおきに出口があります。壁づたいに移動すれば地上に避難できます。



避難の流れ

震災時に避難が必要なときの行動の流れと避難先

これは基本的な避難の流れです。被害の状況により、この避難の流れは変わる場合があります。周囲の状況、区や警察・消防からの情報に十分ご注意ください。

①大地震発生直後の避難行動

大規模な延焼火災の危険がある場合は、一時(いつとき)集合場所を経て、集団で避難場所へ避難する。

避難場所が
近い場合など



一時(いつとき)集合場所
(近所の公園、広場)

集団で避難するための身近な
集合場所

避難場所(公園、緑地、学校等のオープンスペース)

大火災から身の安全を
確保し、火の衰えを待つ
場所



②火災などの危険がなくなった後の避難行動

大火災などの危険がなくなった後、住む家を失った方は、避難所で生活する。

避難場所(公園、緑地、学校等のオープンスペース)

大火災から身の安全を
確保し、火の衰えを待つ
場所



居住継続が
困難な場合

避難所(区立の小中学校など)

住む家を失った方が一時
的に避難生活を送る施設



震災時の避難判断ポイント

避難が必要な状況

- 区から避難指示などが発令された。
- 自宅が倒壊する恐れがある。または、自宅が倒壊した。
- 自宅で火災が発生し、火が天井まで燃え移った。
- 近隣で火災が発生し、延焼する恐れがある。



避難する方法

- 火災が発生している方向や風向き、障害物などに注意し、危険が少ない経路で避難しましょう。
- 避難経路が通行できない場合に備えて、複数の経路を考えましょう。
- 避難する方向が危険な場合は、他の避難先に向かいましょう。



災害時も自宅で生活することが目標です

震災時の避難所は、住む家を失った方が一時的に避難生活を送る施設です。安全確保のためいったんは避難していても、自宅が安全なら、住み慣れた自宅に戻り生活を続けます。

自宅での生活を続けるためにも、室内の家具転倒防止対策や食料の備蓄が重要です。自宅での生活を続けるための備えについては、区が発行する「わが家の防災チェックBOOK」を確認しましょう。

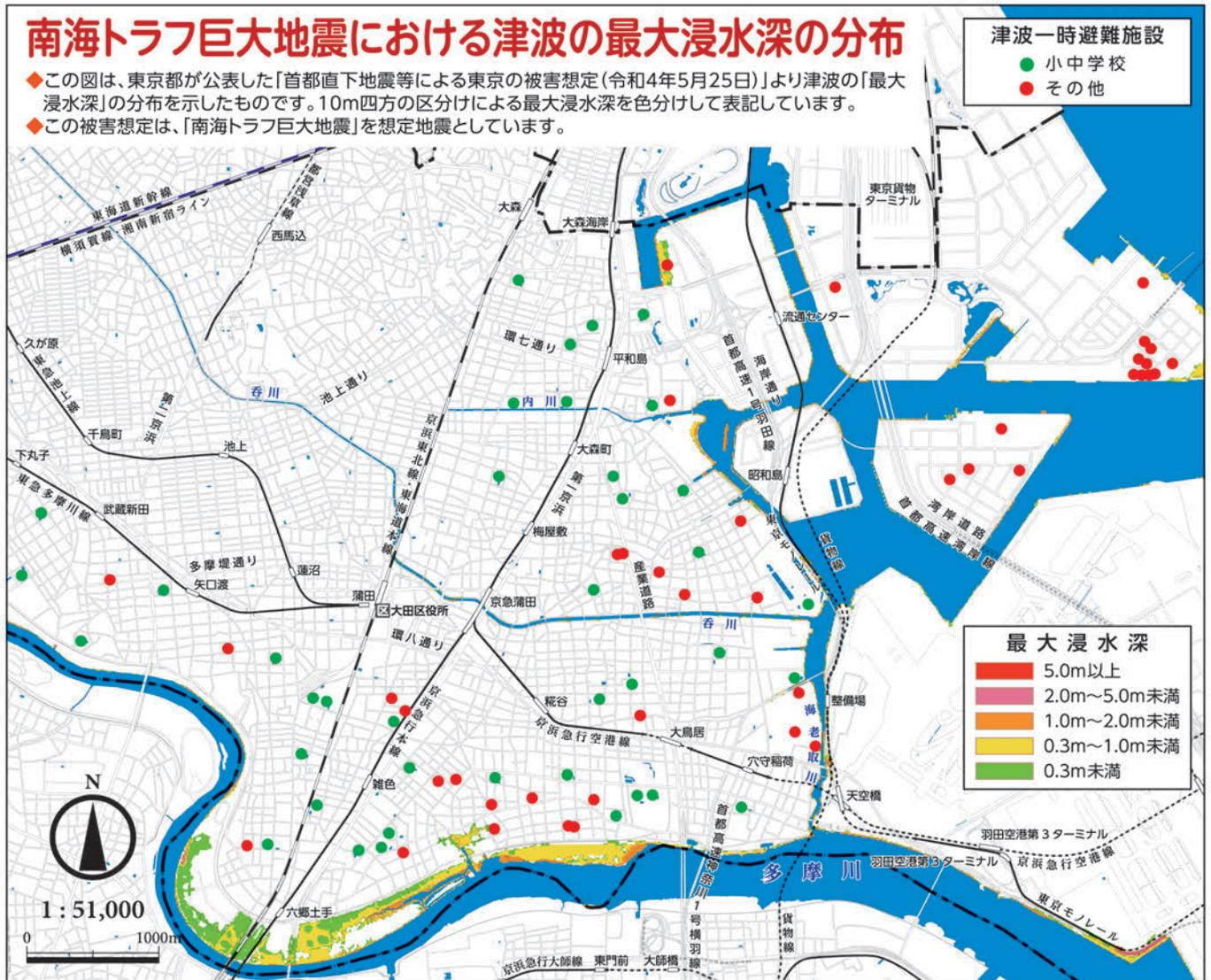
わが家の防災チェックBOOK

<https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/chiiki/bousai/pamphlet/bousaichirashi.html>



津波ハザードマップ

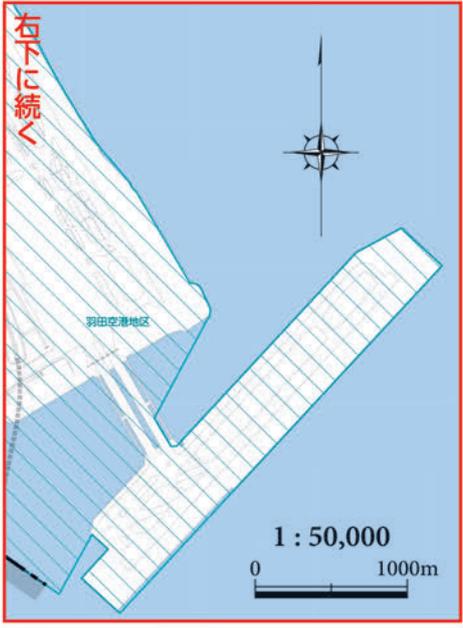
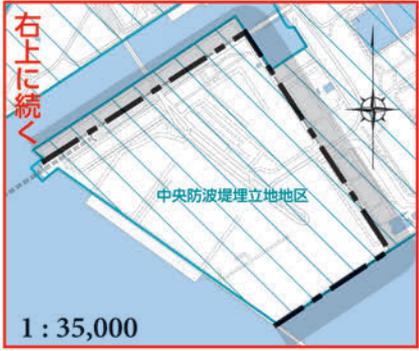
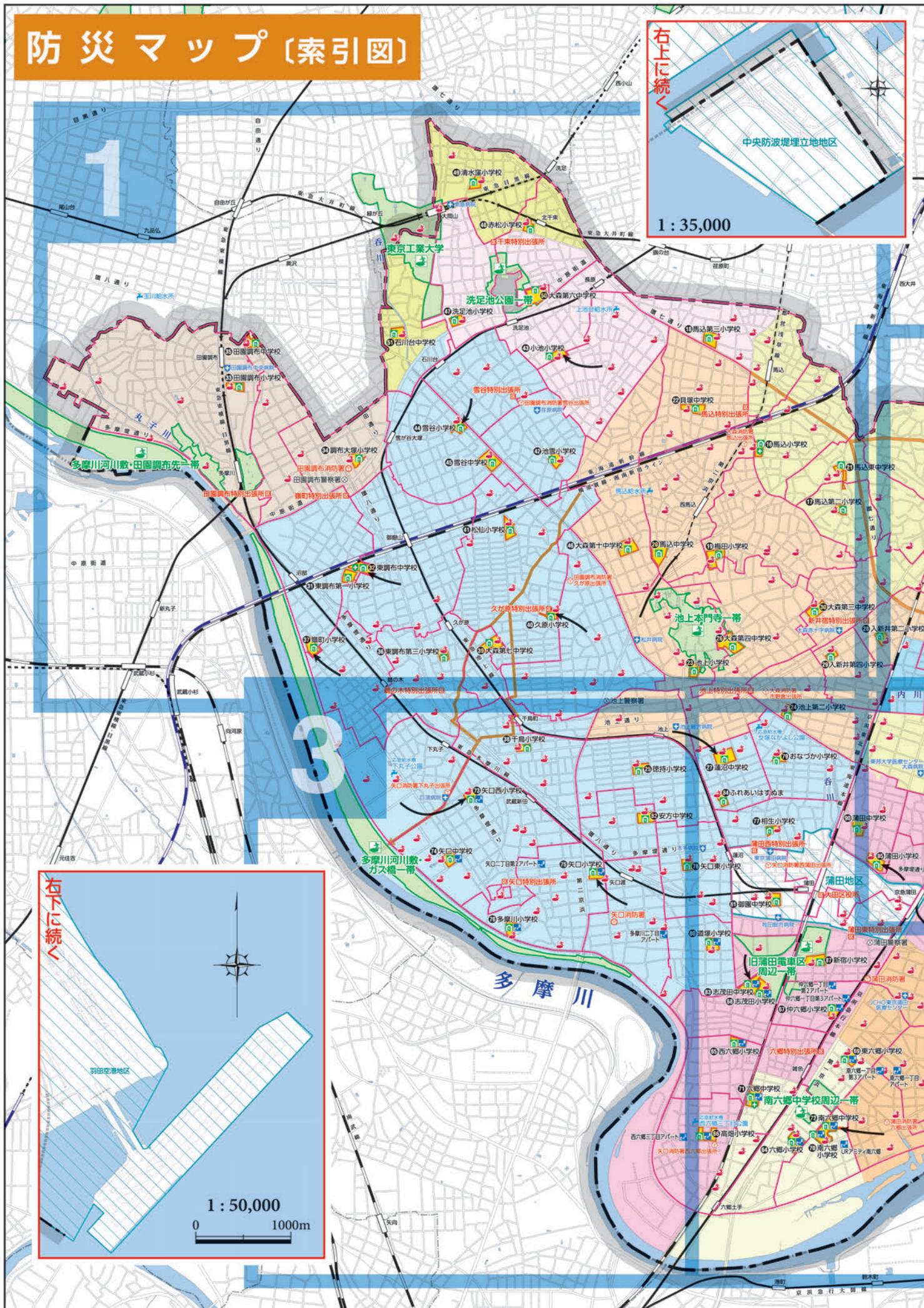
「津波一時避難施設」は、津波警報などの発表時、避難対象地域外への避難が困難な区民などが安全に移動できるまでの間、一時的に避難する場所です。



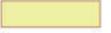
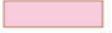
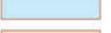
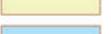
津波一時避難施設一覧		施設名		所在地等	
施設名	所在地等				
区立小中学校	39校	大田清掃工場	京浜島 3-6-1	京浜島勤務者厚生会館	京浜島 2-9-1
区営住宅		東京都下水道局森ヶ崎水再生センター南部スラッジプラント	城南島 5-2-1	東京都住宅供給公社(区内全住宅)	※10団地 13棟
大森東一丁目住宅	大森東 1-36-7	都営住宅(区内全住宅)	※49団地 103棟	京急開発株式会社(平和島競艇場、ビッグファン平和島)	平和島 1-1-1
大森南一丁目アパート	大森南 1-12-18	ヤマト運輸株式会社 羽田クロノゲート	羽田旭町 11-1	株式会社荻原製作所 羽田事務所	羽田旭町 11-1
大森南二丁目アパート	大森南 2-14-1	UR 都市再生機構			
大森南五丁目アパート	大森南 5-3-17	南六郷一丁目	南六郷 1-29		
北糀谷一丁目アパート1号棟	北糀谷 1-1-9	シャレール糀谷	西糀谷 3-23-8		
北糀谷一丁目アパート2号棟	北糀谷 1-1-16	アミティ南六郷	南六郷 3-18-1		
本羽田一丁目アパート	本羽田 1-6-24	丸運株式会社 羽田京浜支店	京浜島 2-6-1		
本羽田一丁目第2アパート	本羽田 1-14-1	東京スーパーエコタウン協議会城南島地区			
本羽田三丁目アパート	本羽田 3-17-20	株式会社リーテム	城南島 3-2-9		
西六郷三丁目アパート	西六郷 3-30-20	高俊興業株式会社	城南島 3-2-15		
南六郷一丁目アパート	南六郷 1-6-12	株式会社アルフォ	城南島 3-3-2, 城南島 3-2-10		
南六郷一丁目第3アパート	南六郷 1-10-1	成友興業株式会社	城南島 3-3-3, 城南島 3-2-11		
仲六郷一丁目第2アパート	仲六郷 1-12-1	株式会社タケエイ	城南島 3-4-3		
仲六郷一丁目第3アパート	仲六郷 1-19-1	バイオエナジー株式会社	城南島 3-4-4		
多摩川二丁目アパート	多摩川 2-11-11	S.P.E.C. 株式会社	城南島 3-2-8		
矢口二丁目第2アパート	矢口 2-12-26	GLP 東京	東海 2-1-2		
大森南四丁目工場アパート(テクノFRONT 森ヶ崎)	大森南 4-6-15	三井不動産インダストリアルパーク羽田	羽田旭町 10-11		
本羽田二丁目第2工場アパート(テクノWING)	本羽田 2-12-1				
中小企業者賃貸住宅(ウイングハイツ)	本羽田 2-12-2				
京浜島会館	京浜島 2-10-2				

※東京都住宅供給公社及び都営住宅については、上記の津波ハザードマップ上に掲載しておりません。

防災マップ(索引図)

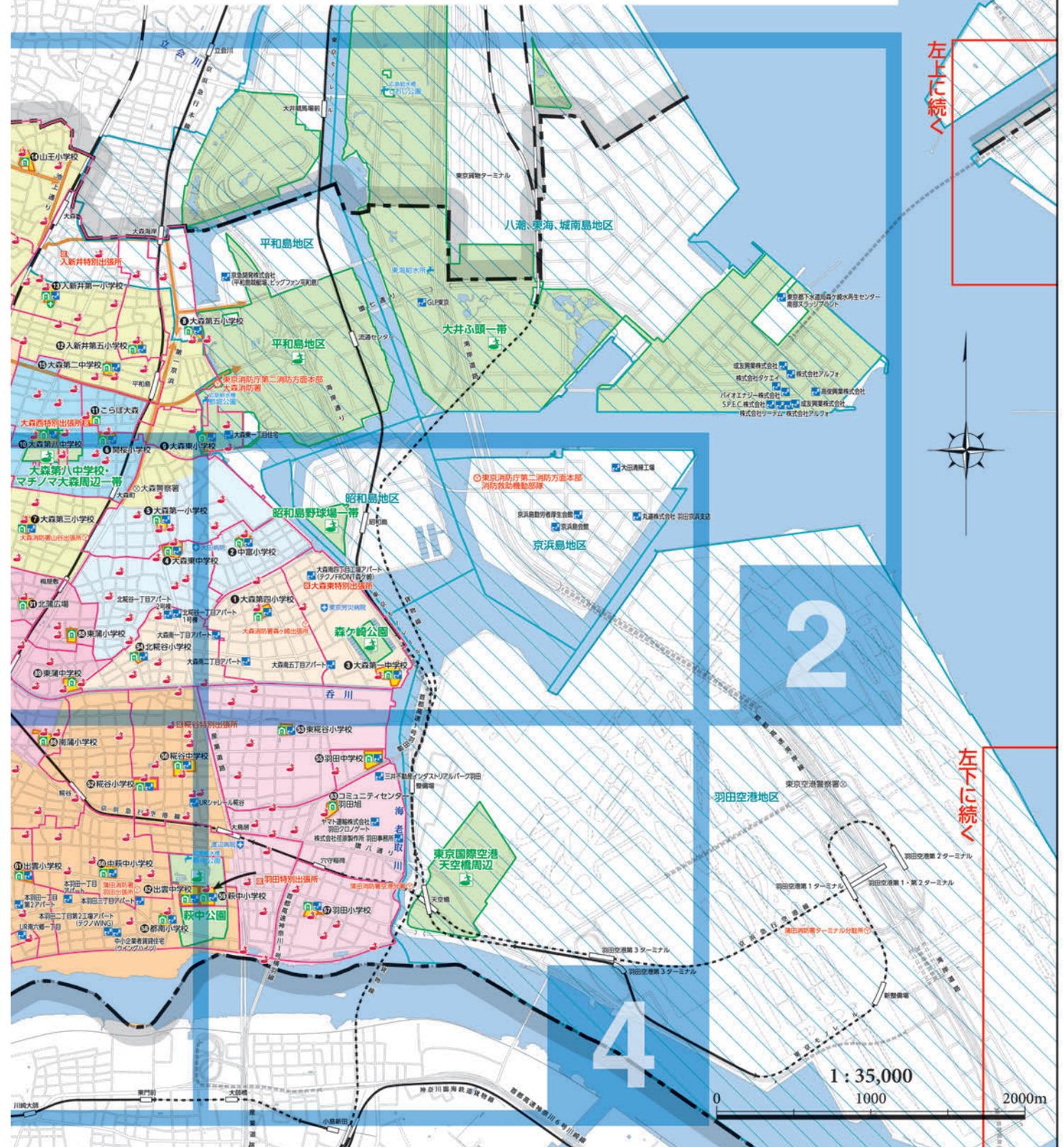


避難場所別区割り凡例

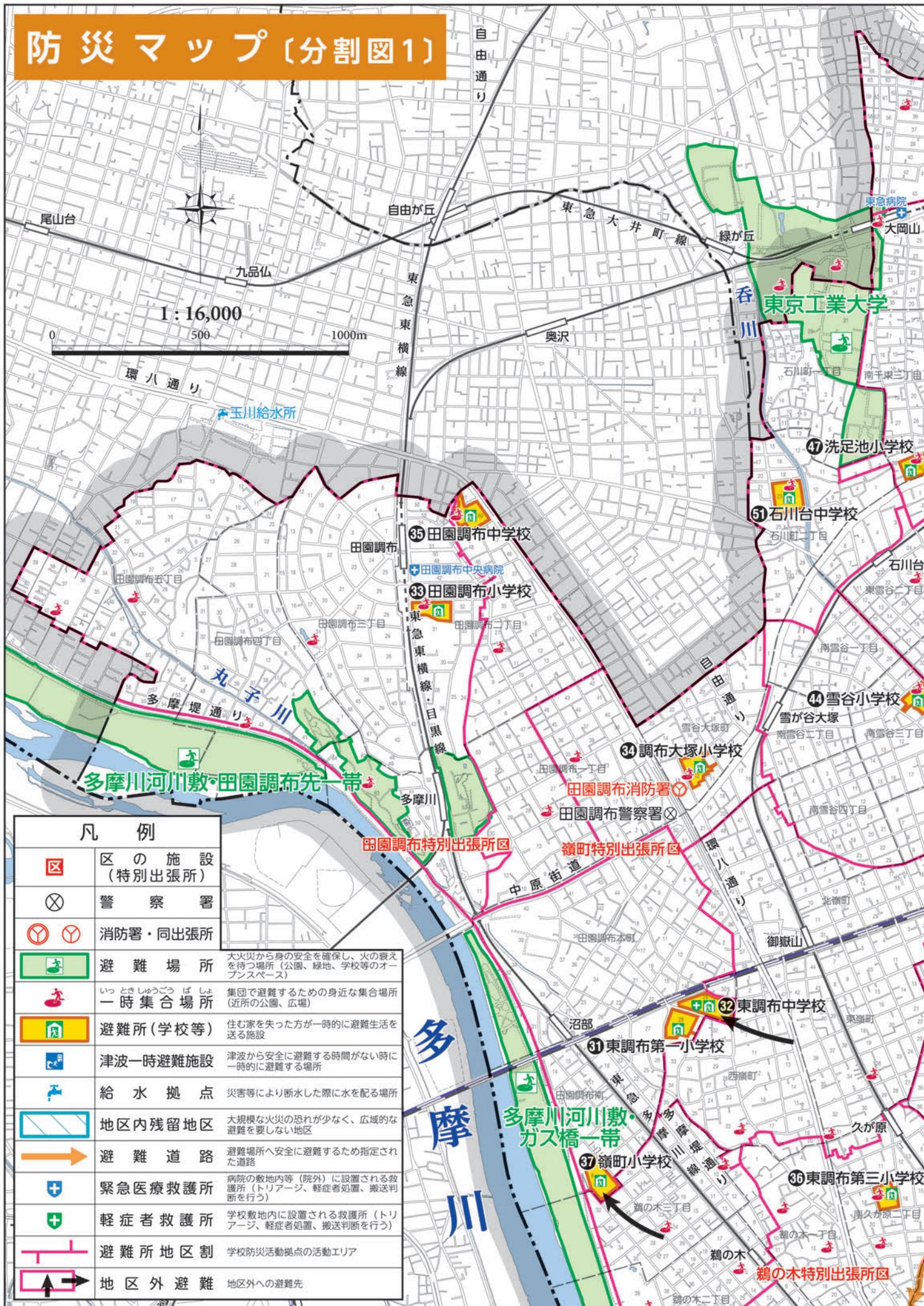
- | | | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------|
|  | 東京工業大学 |  | 旧蒲田電車区周辺一帯 |
|  | 洗足池公園一帯 |  | 昭和島野球場一帯 |
|  | 多摩川河川敷・田園調布先一帯 |  | 森ヶ崎公園 |
|  | 多摩川河川敷・ガス橋一帯 |  | 萩中公園 |
|  | 池上本門寺一帯 |  | 南六郷中学校周辺一帯 |
|  | 平和島地区 |  | 東京国際空港天空橋周辺 |
|  | 大森第八中学校・マチノマ大森周辺一帯 |  | 地区内残留地区 |

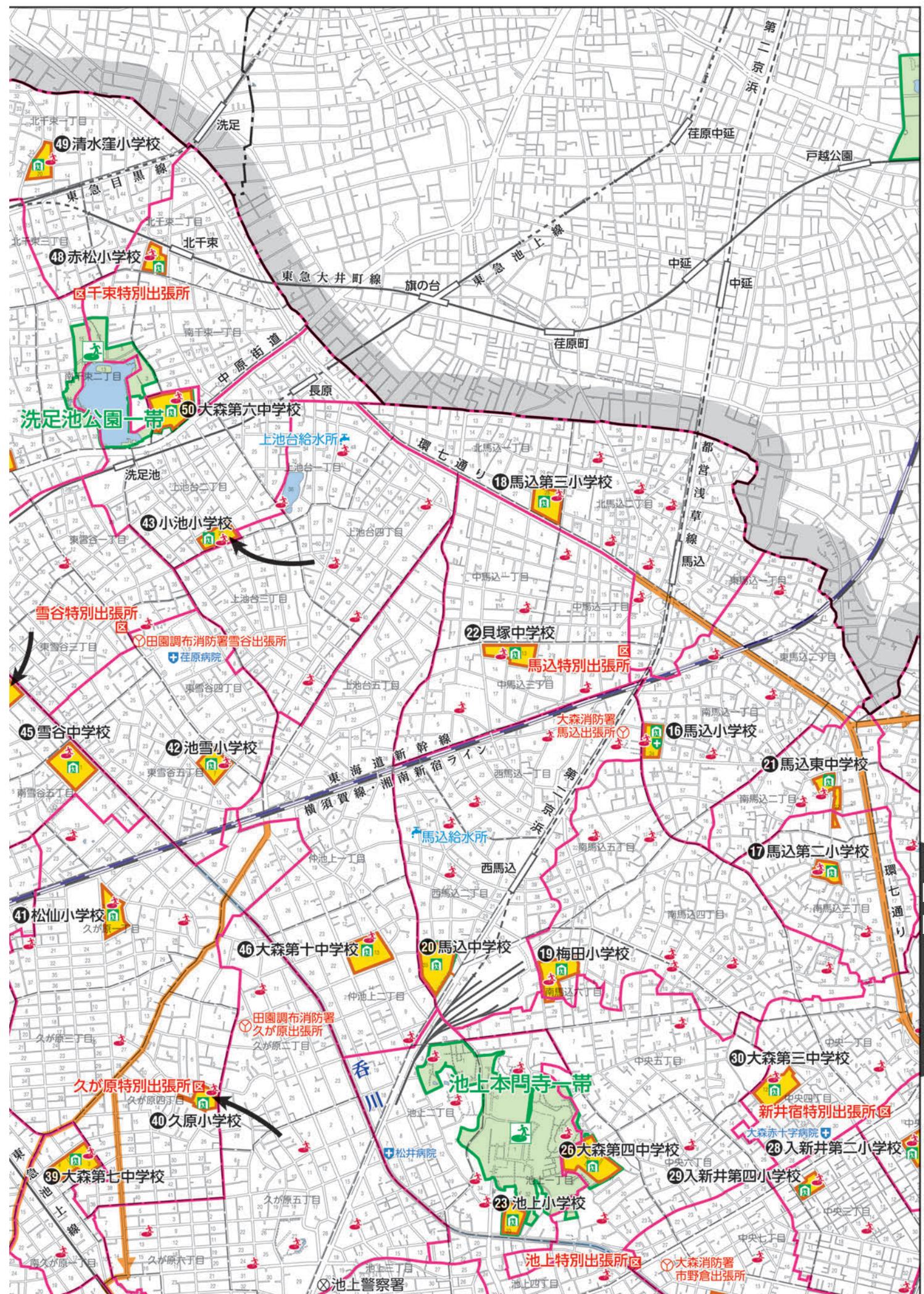
※避難場所の区割は東京都が指定したのになります。

原則として、地区割当により指定された避難場所へ避難していただきます。ただし、地震時の延焼火災の状況によっては、臨機応変な対応が必要です。避難する方向が危険な場合は、他の避難場所に向かいます。



防災マップ〔分割図1〕



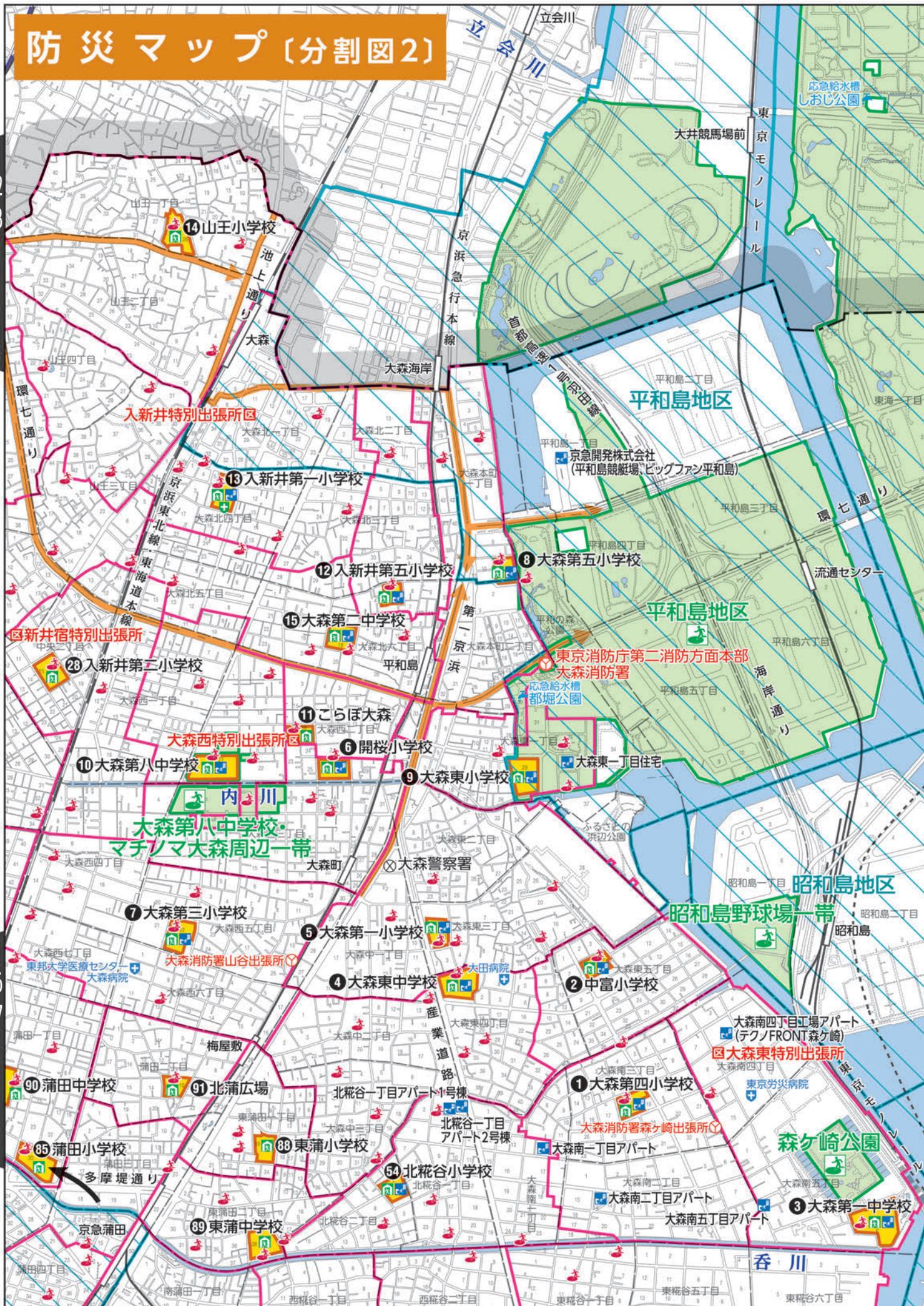


▶ P164
▶ P165
▶ 分割図 2

▼ P166 · P167 分割図 3 ▼

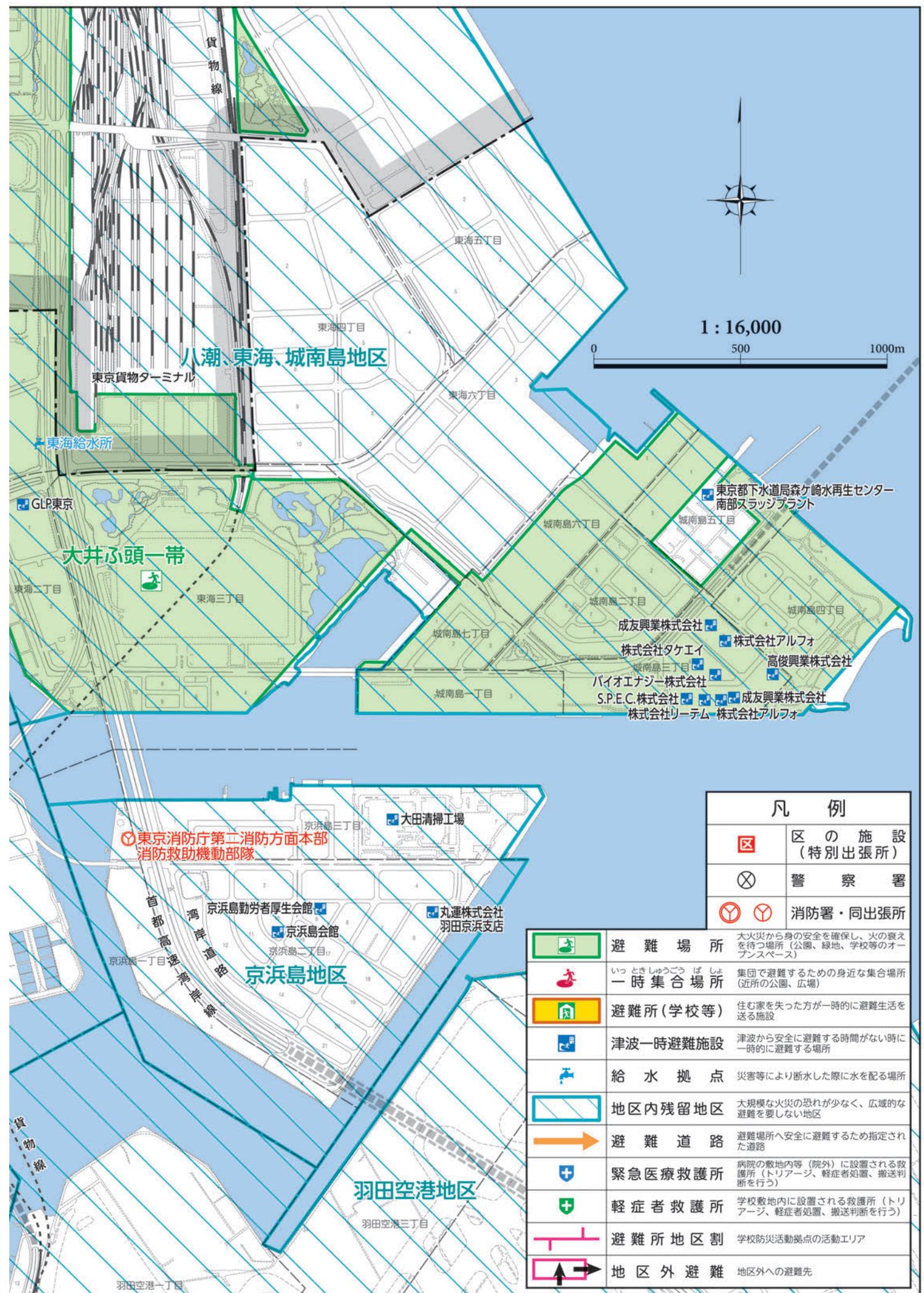
防災マップ〔分割図2〕

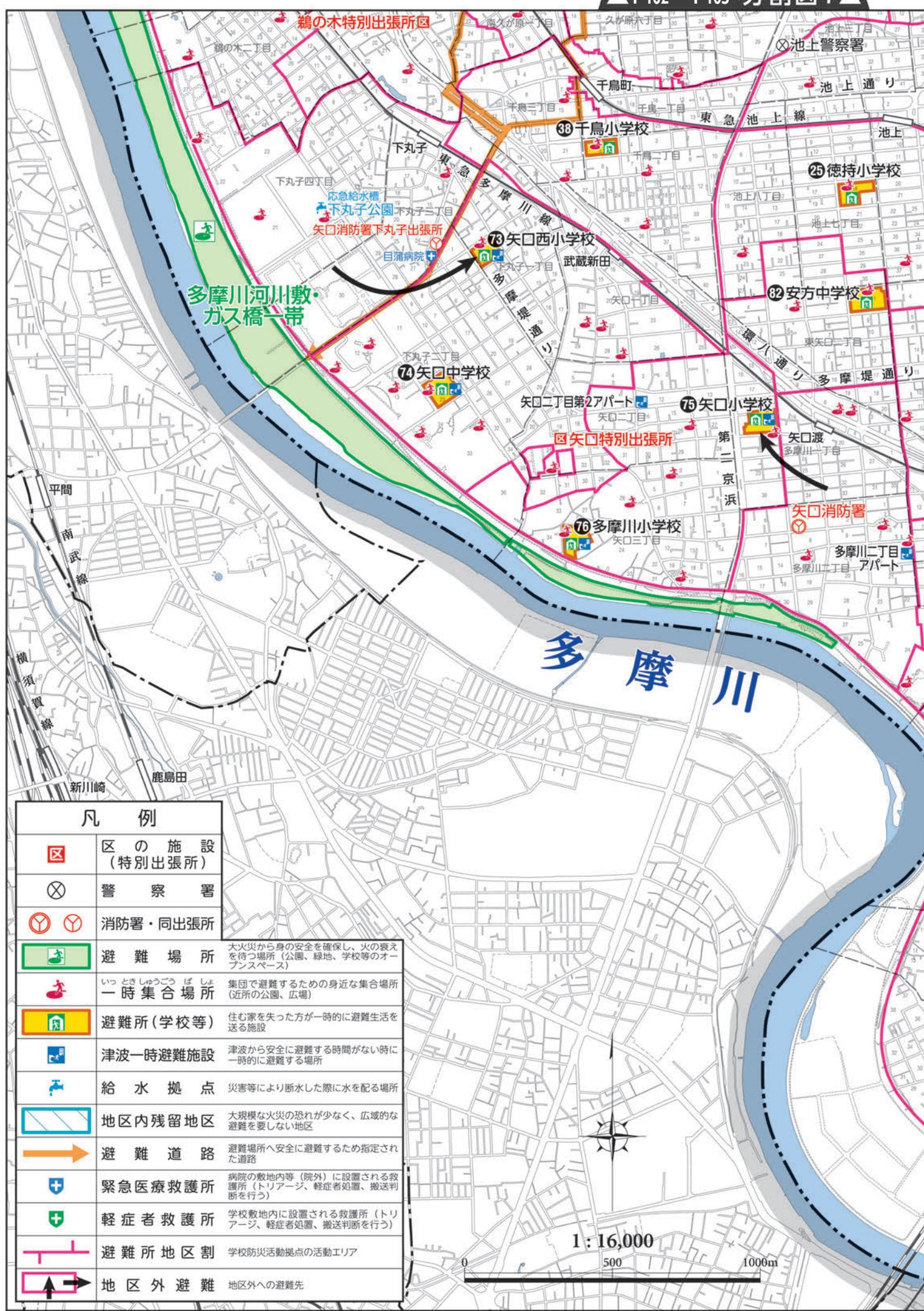
P162
P163
分割図1



P166
P167
分割図3

P168 · P169 分割図4

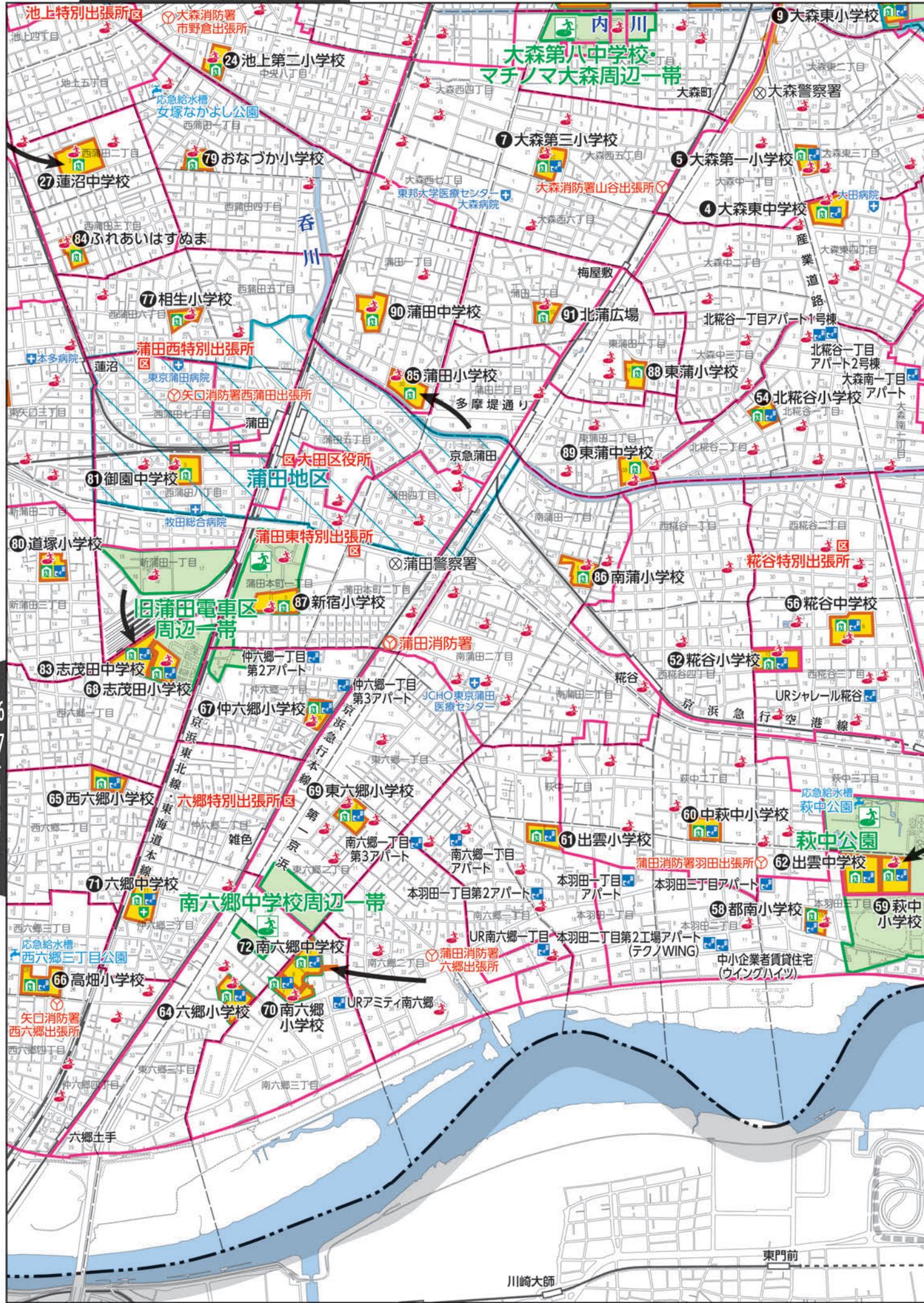


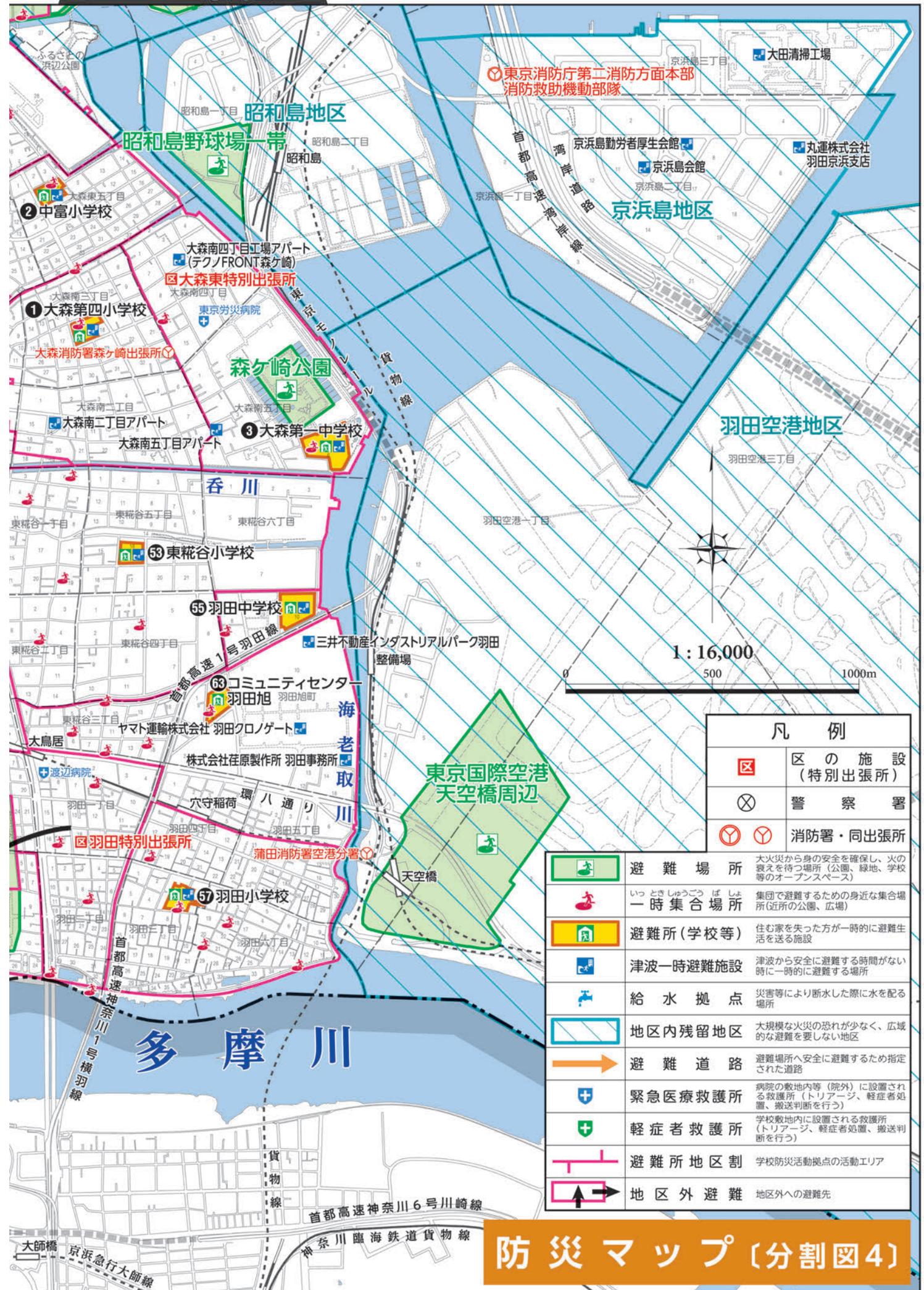


凡 例	
	区 の 施設 (特別出張所)
	警 察 署
	消防署・同出張所
	避難場所 大火災から身の安全を確保し、火の衰えを待つ場所(公園、緑地、学校等のオープンスペース)
	いっ とき しゅうごう ばしょ 一時集合場所 集団で避難するための身近な集合場所(近所の公園、広場)
	避難所(学校等) 住む家を失った方が一時的に避難生活を送る施設
	津波一時避難施設 津波から安全に避難する時間がない時に一時的に避難する場所
	給 水 拠 点 災害等により断水した際に水を配る場所
	地区内残留地区 大規模な火災の恐れが少なく、広域的な避難を要しない地区
	避難道路 避難場所へ安全に避難するため指定された道路
	緊急医療救護所 病院の敷地内等(院外)に設置される救護所(トリアージ、軽症者処置、搬送判断を行う)
	軽症者救護所 学校敷地内に設置される救護所(トリアージ、軽症者処置、搬送判断を行う)
	避難所地区割 学校防災活動拠点の活動エリア
	地区外避難 地区外への避難先

1:16,000







	区 の 施 設 (特別出張所)
	警 察 署
	消 防 署 ・ 同 出 張 所

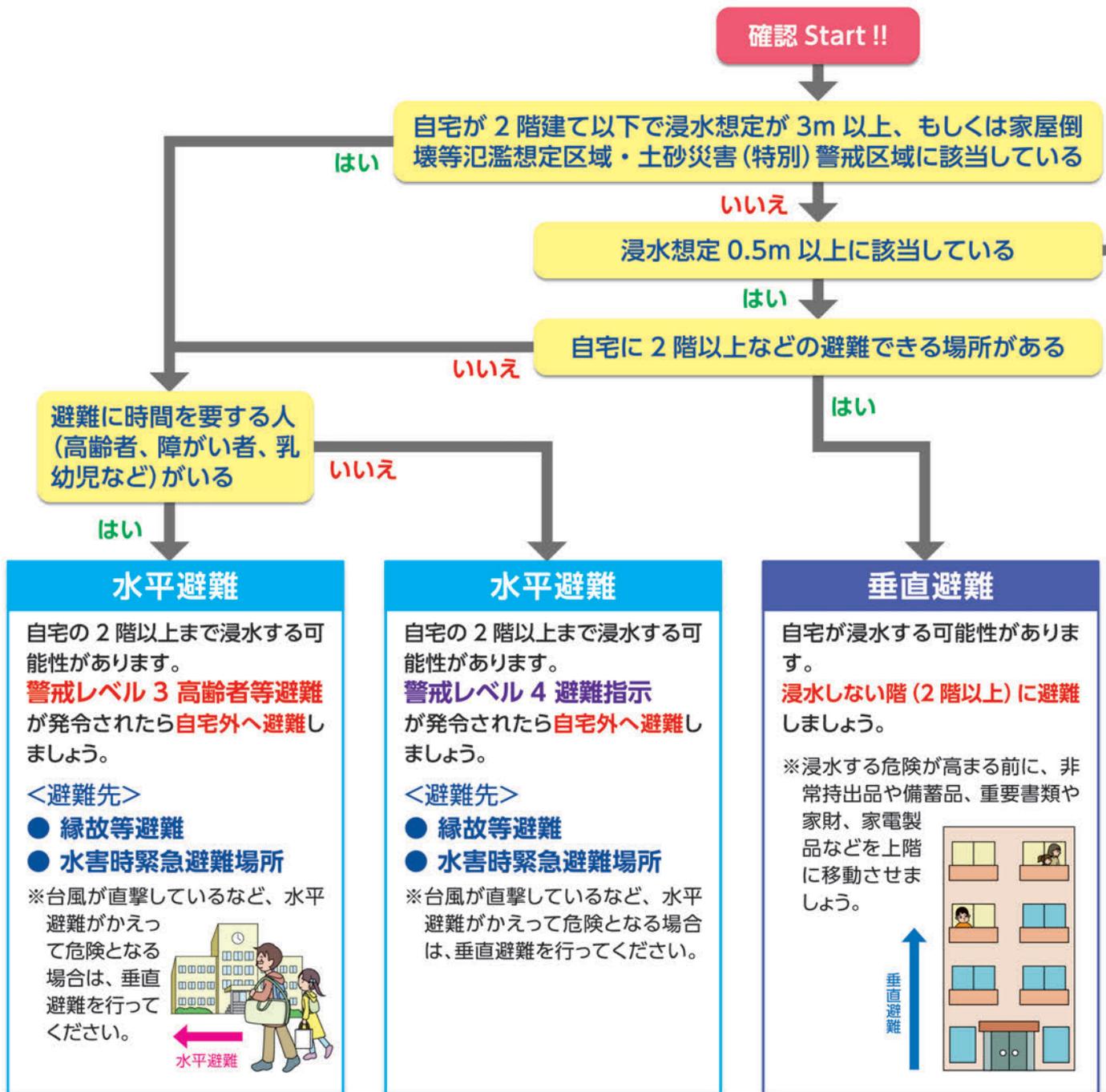
	避 難 場 所	大火災から身の安全を確保し、火の衰えを待つ場所（公園、緑地、学校等のオープンスペース）
	いっ とき しゅうごう ばしょ 一 時 集 合 場 所	集団で避難するための身近な集合場所（近所の公園、広場）
	避 難 所 (学 校 等)	住む家を失った方が一時的に避難生活を送る施設
	津 波 一 時 避 難 施 設	津波から安全に避難する時間がない時に一時的に避難する場所
	給 水 拠 点	災害等により断水した際に水を配る場所
	地 区 内 残 留 地 区	大規模な火災の恐れが少なく、広域的な避難を要しない地区
	避 難 道 路	避難場所へ安全に避難するため指定された道路
	緊 急 医 療 救 護 所	病院の敷地内等（院外）に設置される救護所（トリアージ、軽症者処置、搬送判断を行う）
	軽 症 者 救 護 所	学校敷地内に設置される救護所（トリアージ、軽症者処置、搬送判断を行う）
	避 難 所 地 区 割	学校防災活動拠点の活動エリア
	地 区 外 避 難	地区外への避難先

防 災 マ ッ プ [分 割 図 4]

風水害から身を守るための避難行動

大雨や台風は、震災と異なり、接近時期や規模を事前にある程度予測することができます。日頃から自宅や学校・職場などの生活環境にどのような災害リスクがあるか、ハザードマップなどで確認し、いざ大雨や台風が迫ってきた場合は、早めに避難行動をとれるようにしましょう。

避難行動判定フロー(あなたがとるべき避難行動は?)



縁故等避難とは、浸水する恐れがない場所にいる家族や親戚、知人の家など、日頃から頼れる人の家に避難することです。また、自分でホテルや旅館などの宿泊施設を確保する避難も該当しますが、宿泊費などは自己負担になります。

水害時緊急避難場所とは、自ら避難先を確保できない人や避難行動要支援者と付添者のための避難先です。状況に応じて、区立小・中学校など(多摩川小学校・嶺町小学校を除く)89箇所を開設します。

浸水・土砂災害危険性の確認

ハザードマップで自宅と周辺に水害リスクが想定されているかを確認し、下の表に記入しましょう。

ハザードマップ	被害想定	浸水の深さ	浸水継続時間	家屋倒壊等氾濫 想定区域(該当=○)	土砂災害(特別) 警戒区域(該当=○)
P ~P	多摩川の氾濫	最大 m	時間		
P ~P	高潮の被害	最大 m	時間		
P ~P	中小河川の氾濫 (内水氾濫含む)	最大 m			
	土砂災害				

分散避難をしましょう

分散避難とは、避難所以外（自宅、親戚、知人の家など）へ分散して避難することです。区における避難所の密集回避のため、また、避難所で環境の変化などによって体調を崩さないために、分散避難を検討しましょう。

分散避難についてご理解いただき、ご協力をお願いします。

分散避難の検討順

まずは在宅避難（屋内待機・垂直避難）

- 「浸水・倒壊の危険がない」「丈夫な建物に住んでいる」場合は、自宅に留まりましょう。
- 戸建てなどで浸水する階がある場合は、浸水しない階へ避難しましょう。
- 河川の氾濫などで在宅避難が長引く場合を考えて、最低でも3日分、できれば1週間分の食料や生活用品を備蓄しましょう。



次に縁故等避難

- 家族や親戚、知人の家、ホテルや旅館などへ避難しましょう（宿泊費は自己負担）。
- 日頃から避難先の人と連絡をとりましょう。
- 雨風が強くなる前や日没前に、浸水地域外へ移動しましょう。



最後に水害時緊急避難場所へ避難

- 日頃から非常持出品を用意し、荒天になる前に避難所へ避難しましょう。
- 食料や水のほか、タオルなどを必ず持参しましょう。
- 原則、徒歩で避難しましょう。



いいえ

屋内待機

自宅外へ避難する必要はありません。ただし、被害想定がない地域であっても、周りより低い地形などの場合、気象庁や区からの情報を確認し、**必要に応じて避難**してください。

※万が一の事態に備え、非常持出品や備蓄品などの確認をしましょう。

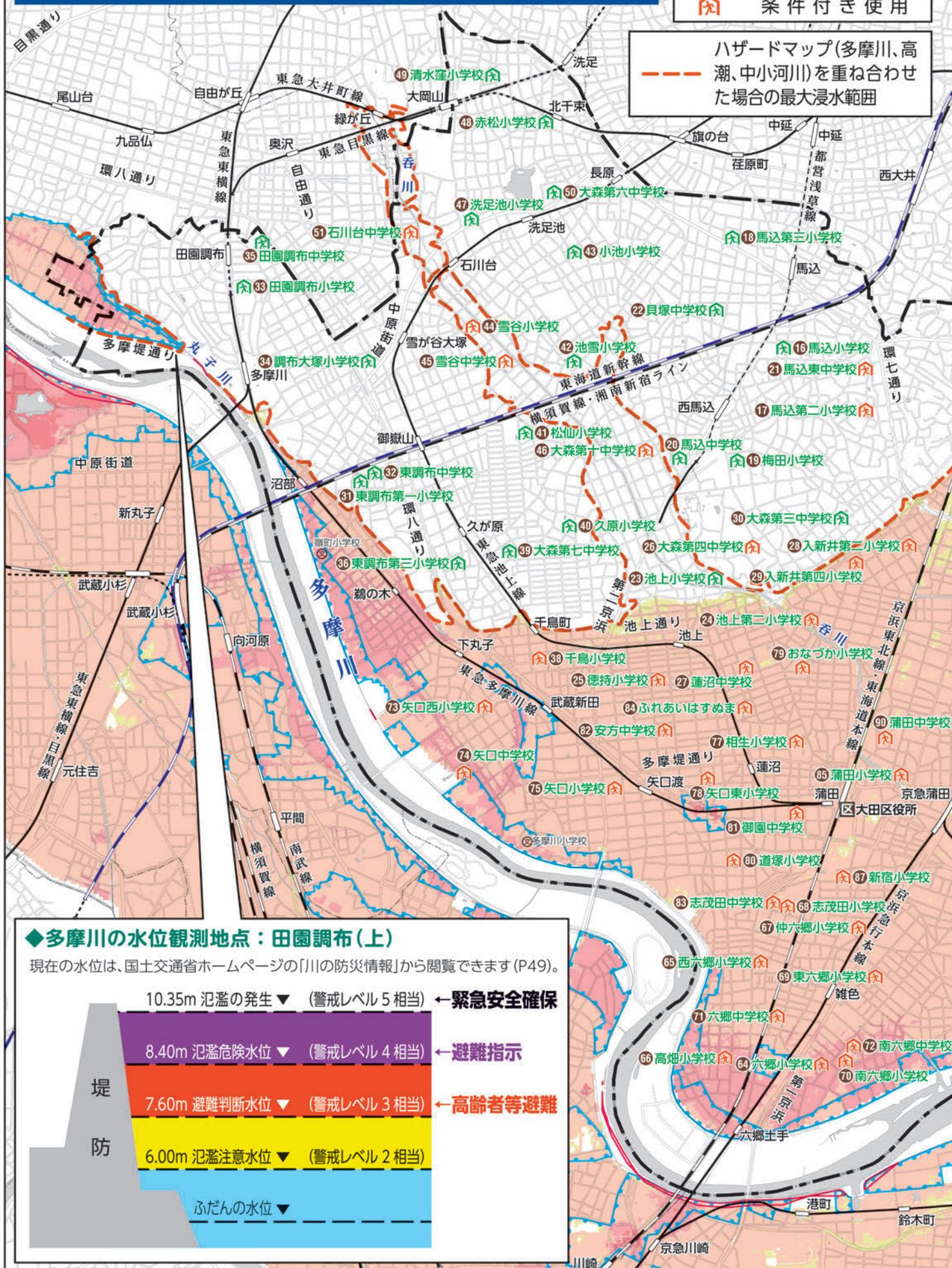


水防法に基づく多摩川ハザードマップ〔最大浸水深〕

水害時緊急避難場所

-  全階使用可
-  条件付き使用

ハザードマップ(多摩川、高潮、中小河川)を重ね合わせた場合の最大浸水範囲



◆多摩川の水位観測地点：田園調布(上)

現在の水位は、国土交通省ホームページの「川の防災情報」から閲覧できます(P49)。

10.35m 氾濫の発生 ▼ (警戒レベル5相当) ←緊急安全確保

8.40m 氾濫危険水位 ▼ (警戒レベル4相当) ←避難指示

7.60m 避難判断水位 ▼ (警戒レベル3相当) ←高齢者等避難

6.00m 氾濫注意水位 ▼ (警戒レベル2相当)

ふだんの水位 ▼

多摩川の全流域で48時間に588mmの降雨があった場合

◆このハザードマップは、国土交通省が公表した「多摩川水系多摩川、浅川、大栗川浸水想定区域図(平成28年5月30日)」において、多摩川流域に大雨が降った場合に、浸水が想定される区域と想定される最大の浸水の深さを示したものです。

◆想定される降雨は、多摩川流域の48時間総雨量588mmです。

◆多摩川氾濫(洪水)

多摩川の堤防が決壊すると、大量の水がまちなかに流れ込み、家屋損壊する恐れがあります。また、浸水被害は広範囲におよびます。



浸水深の想定と目安



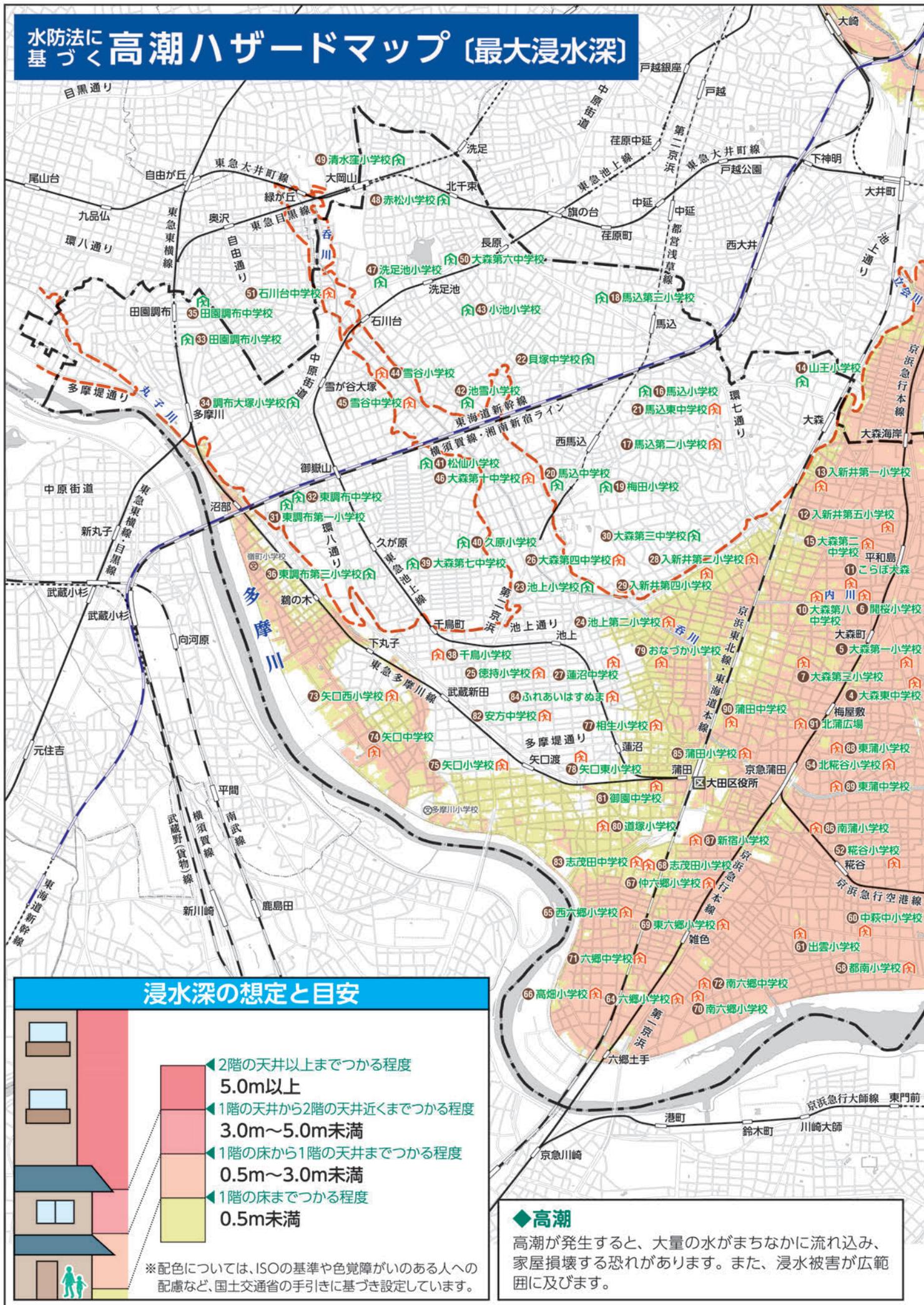
※配色については、ISOの基準や色覚障がいのある人への配慮など、国土交通省の手引きに基づき設定しています。

家屋倒壊等氾濫想定区域

- (氾濫流)** 氾濫した水の流れが直撃した場合に、標準的な木造家屋の倒壊等をもたらすような氾濫が想定される区域
- (河岸侵食)** 河川の激しい流れにより河岸が削られ土地が流出し、家屋が流失・倒壊する恐れのある区域



水防法に基づく高潮ハザードマップ〔最大浸水深〕



浸水深の想定と目安

	2階の天井以上までつかる程度 5.0m以上
	1階の天井から2階の天井近くまでつかる程度 3.0m~5.0m未満
	1階の床から1階の天井までつかる程度 0.5m~3.0m未満
	1階の床までつかる程度 0.5m未満

※配色については、ISOの基準や色覚障がいのある人への配慮など、国土交通省の手引きに基づき設定しています。

◆高潮

高潮が発生すると、大量の水がまちなかに流れ込み、家屋損壊する恐れがあります。また、浸水被害が広範囲に及びます。

超大型の台風の接近で海面が上昇した場合

◆このハザードマップは、東京都が公表した「東京都高潮浸水想定区域図(令和4年4月13日)」において、台風による高潮が発生した場合に、浸水が想定される区域と想定される最大の浸水の深さを示したものです。

◆想定される高潮は、上陸時中心気圧910hPa、最大旋衝風速半径75km、移動速度73km/hの台風による高潮です。



水害時緊急避難場所
 全階使用可
 条件付き使用

ハザードマップ(多摩川、高潮、中小河川)を重ね合わせた場合の最大浸水範囲

水防法に基づく中小河川ハザードマップ 土砂災害・内水氾濫ハザードマップ〔索引図〕



家屋倒壊等氾濫想定区域

(氾濫流) 氾濫した水の流れが直撃した場合に、標準的な木造家屋の倒壊等をもたらすような氾濫が想定される区域

(河岸侵食) 河川の激しい流れにより河岸が削られ土地が流出し、家屋が流失・倒壊する恐れのある区域

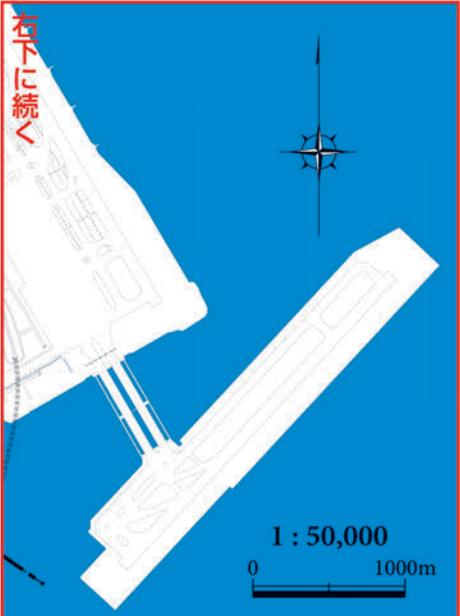
土のう置場

家屋の浸水防止のため、区内27か所に土のう置場を設置しています(令和4年7月現在)。どなたでも利用でき、連絡等は不要です。

詳細な設置位置は、こちらから確認できます。

アンダーパス(地下道)

短時間に大量の雨が降ると、あっという間にアンダーパス(地下道)へ水が流れ込み、車両や人が動けなくなる危険があります。



呑川、丸子川等流域で1時間に153mmの降雨があった場合

- ◆このハザードマップは、東京都が公表した「城南地区河川流域浸水予想区域図(改定)(令和元年6月27日)」及び「野川、仙川、谷沢川及び丸子川流域浸水予想区域図(令和元年6月27日)」において、大雨が降った場合に、浸水が予想される区域と想定される最大の浸水の深さを示したものです。
- ◆想定最大規模降雨量は、「城南地区河川流域浸水予想区域図(改定)」野川、仙川、谷沢川及び丸子川流域浸水予想区域図」共に時間最大雨量153mm・総雨量690mmです。
- ◆内水氾濫(雨水出水)は水防法に基づく浸水想定区域が未指定のため、東京都が独自に作成しているものを中小河川の氾濫も含んで載せています。
- ◆土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域は、令和5年1月時点の土砂災害が発生する恐れがある区域として指定された箇所を示したものです。

区内の雨量や河川水位の監視ポイント

浸水被害を事前に察知するために雨量や河川の水位などを確認しましょう。区では水防監視カメラを6地点に設置しており、リアルタイム画像で確認できます。

雨量計

- ◆蒲田(区役所本庁舎)
- ◆馬込(特別出張所)
- ◆額町(特別出張所)
- ◆多摩川(田園調布(上)水位観測所)
- ◆内川(内川水門)
- ◆新井宿(特別出張所)
- ◆雪谷(特別出張所)
- ◆呑川(池上水位観測所)
- ◆羽田(東京国際空港)

水防監視カメラ

- 多摩川…◆六郷水門
- 呑川…◆石川町 ◆夫婦橋親水公園 ◆仲池上 ◆東糀谷 ◆中央 ◆旭橋

カメラの映像は、こちらからアクセスできます。

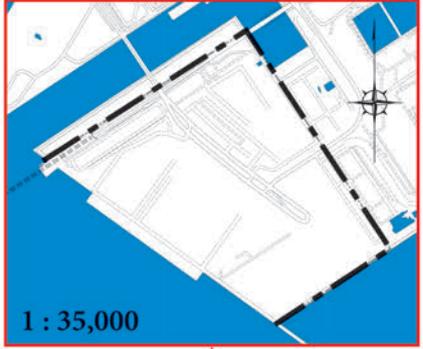


河川水位

- ◆多摩川(田園調布(上)水位観測所)
- ◆呑川(池上水位観測所)



リアルタイム情報は、こちらからアクセスできます。

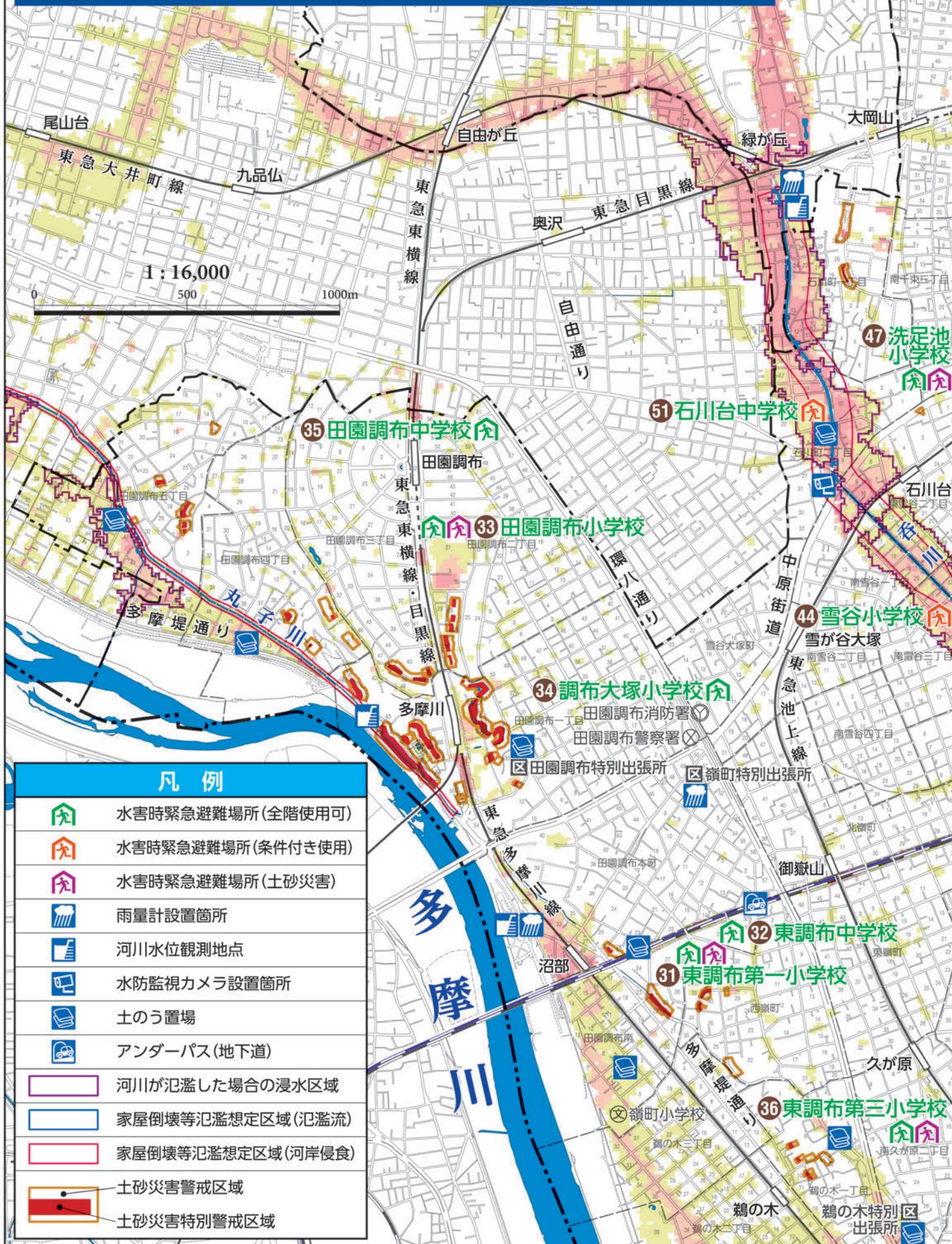


1 : 35,000



左下に続く

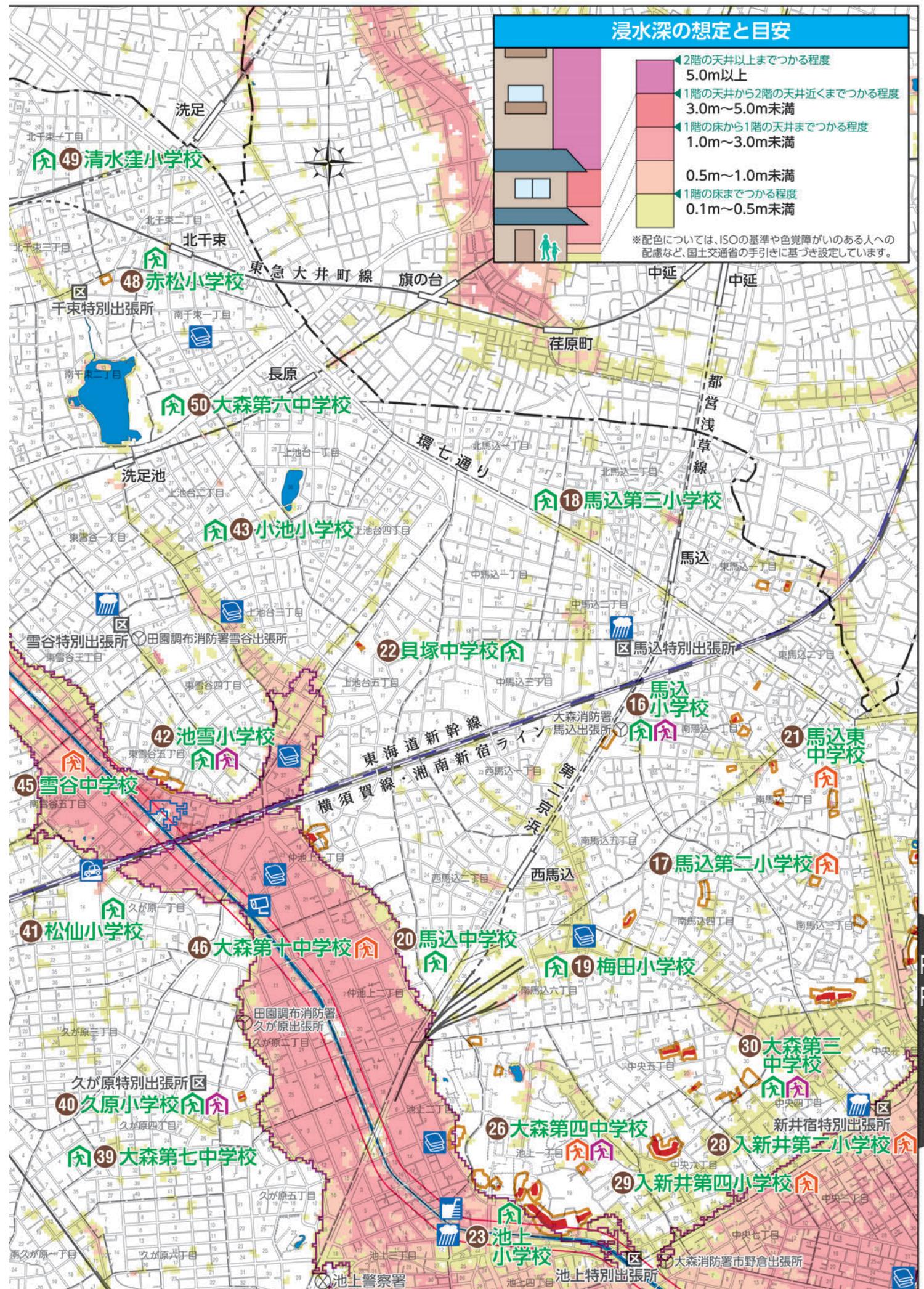
水防法に基づく中小河川ハザードマップ [分割図1] 土砂災害・内水氾濫ハザードマップ



浸水深の想定と目安



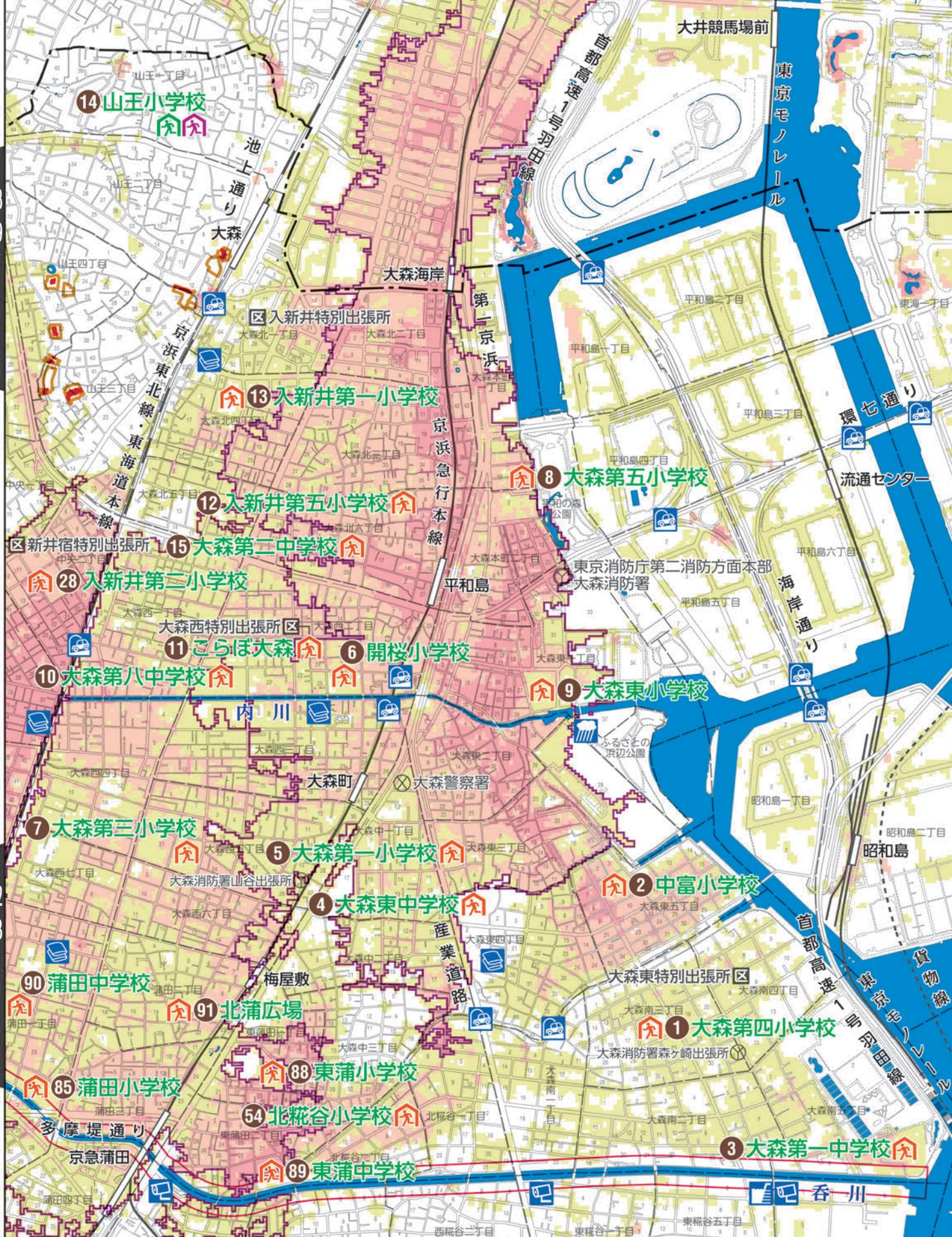
※配色については、ISOの基準や色覚障がいのある人への配慮など、国土交通省の手引きに基づき設定しています。



▼ P182・P183 分割図3 ▼

▶ P180・P181 分割図2 ▶

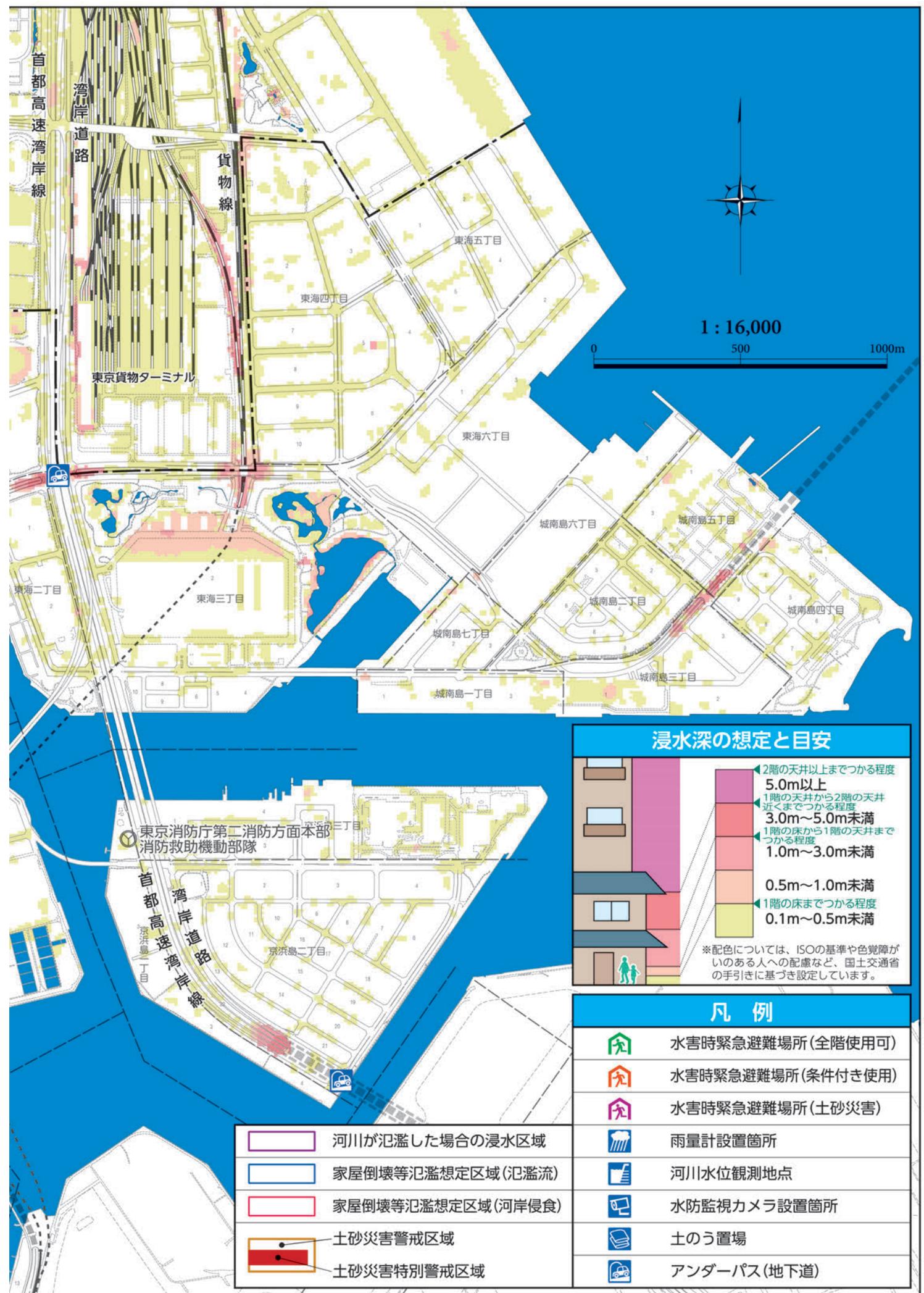
水防法に基づく中小河川ハザードマップ [分割図2] 土砂災害・内水氾濫ハザードマップ



◀ P178
P179 分割図1 ▶

◀ P182
P183 分割図3 ▶

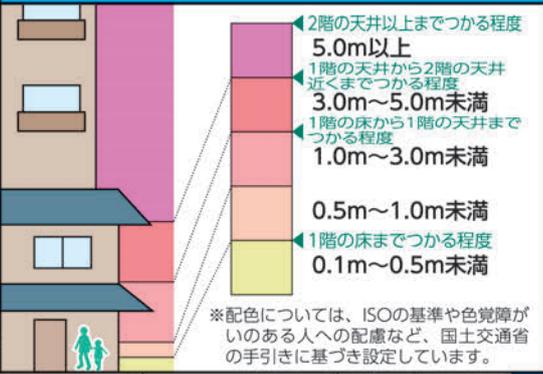
▼ P184・P185 分割図4 ▼



1 : 16,000

0 500 1000m

浸水深の想定と目安



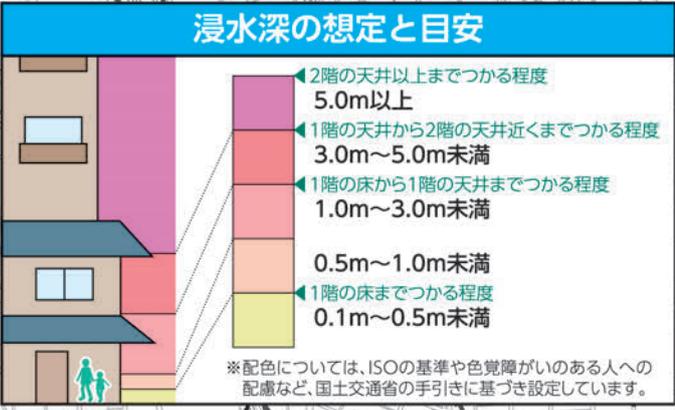
凡例

	水害時緊急避難場所(全階使用可)
	水害時緊急避難場所(条件付き使用)
	水害時緊急避難場所(土砂災害)
	雨量計設置箇所
	河川水位観測地点
	水防監視カメラ設置箇所
	土のう置場
	アンダーパス(地下道)

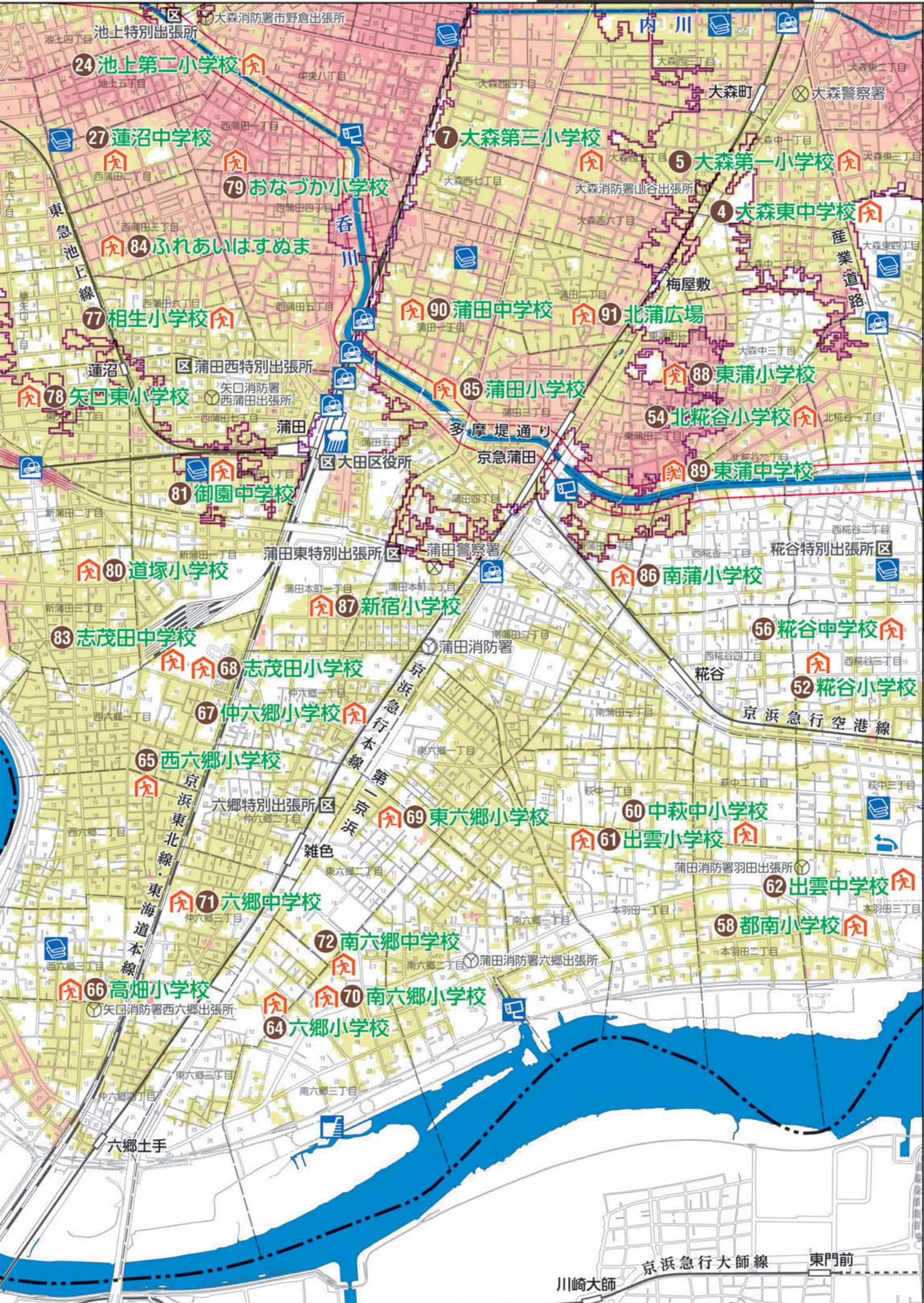
	河川が氾濫した場合の浸水区域
	家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
	家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域

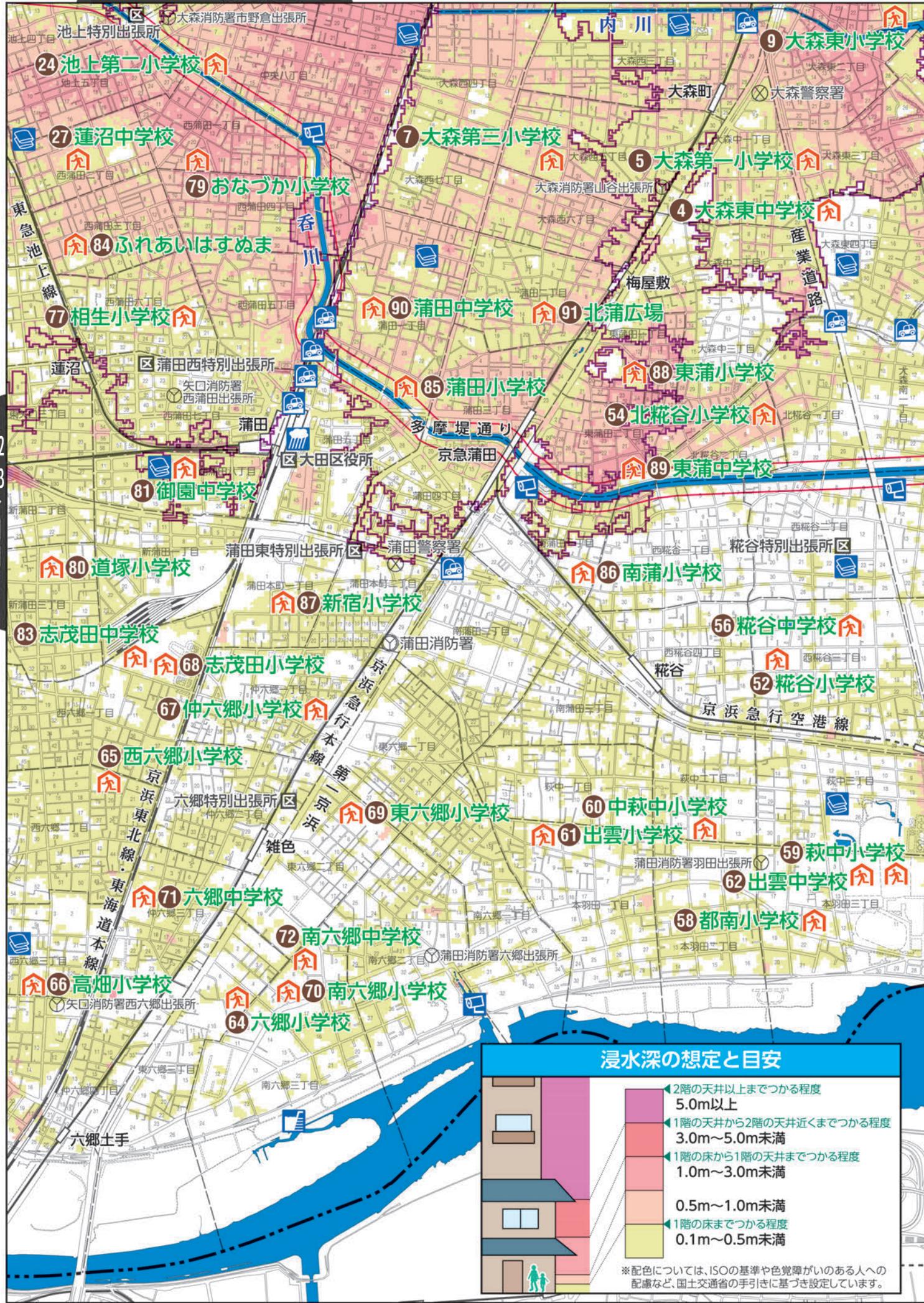


凡例	
	水害時緊急避難場所(全階使用可)
	水害時緊急避難場所(条件付き使用)
	水害時緊急避難場所(土砂災害)
	雨量計設置箇所
	河川水位観測地点
	水防監視カメラ設置箇所
	土のう置場
	アンダーパス(地下道)
	河川が氾濫した場合の浸水区域
	家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
	家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域



水防法に基づく中小河川ハザードマップ
土砂災害・内水氾濫ハザードマップ [分割図3]





浸水深の想定と目安

	2階の天井以上までつかる程度 5.0m以上
	1階の天井から2階の天井近くまでつかる程度 3.0m～5.0m未満
	1階の床から1階の天井までつかる程度 1.0m～3.0m未満
	0.5m～1.0m未満
	1階の床までつかる程度 0.1m～0.5m未満

※配色については、ISOの基準や色覚障がいのある人への配慮など、国土交通省の手引きに基づき設定しています。



水防法に基づく中小河川ハザードマップ
土砂災害・内水氾濫ハザードマップ〔分割図4〕

情報入手先

大田区からの情報収集(震災・風水害共通)

大田区防災アプリ

大田区防災アプリは、地震や台風などの災害が発生した際に、大田区から発信する災害に関する情報を、すばやく手に入れることができる大田区公式防災アプリです。

いざという時に備え、ぜひご利用ください。

主な機能

- 発令中の避難情報や避難所の開設状況を地図で確認できます。
- プッシュ通知機能で、区からの情報をいち早く受け取ることができます。
- GPS機能により、地図で現在位置、避難所の位置などを確認できます。
- その他、災害に役立つ情報が確認できます。



アプリのダウンロード

下記の二次元コードより「App Store」または「Google Play」にアクセスしてダウンロードしてください。



(iOS の方)



App Store

(Android の方)



Google Play

※本アプリのインストールは無料ですが、通信料は別途かかります。

大田区防災ポータル

大田区防災アプリをダウンロードしていない端末や、パソコンなどからも区が配信した防災情報を確認できます。

アクセス方法

大田区防災ポータル



以下の URL を入力、または右記の二次元コードよりアクセスしてください。

<https://bosaiportal.city.ota.tokyo.jp/>



区民安全・安心メールサービス

あらかじめ登録されたメールアドレスに、防災情報、気象情報、地震情報、水防情報、防災行政無線の放送内容などを配信しています。

登録方法

以下のアドレスに空メールを送信してください。
アドレスは右記の二次元コードで自動入力できます。
kumin@anzen.city.ota.tokyo.jp



大田区ツイッター

区内の災害情報を発信しています。
ツイッターの検索画面から「大田区」で検索、または下記の二次元コードよりアクセスしてください。

アカウント @city_ota
表示名称 大田区



防災行政無線

区から警戒レベル4(避難指示)が発令された場合、屋外に設置している防災行政無線(放送塔)から、サイレンを鳴らしてお知らせいたします。サイレンが聞こえたら、テレビや大田区防災ポータルなどから、詳しい情報を入手し、落ち着いて避難行動をとってください。